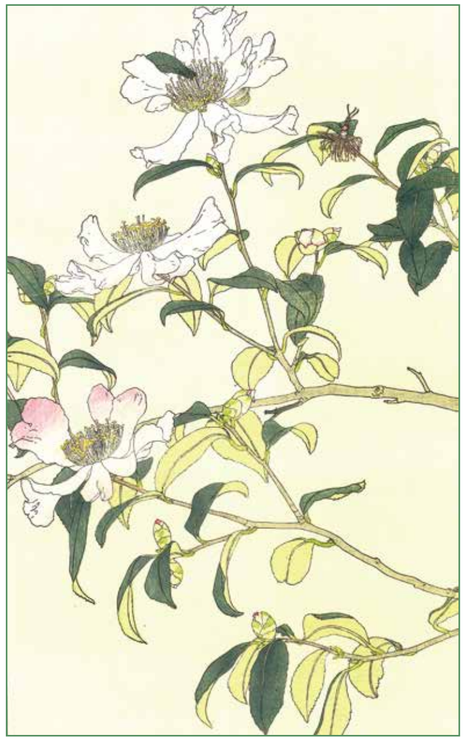
花かがみ

HANA-KAGAMI

'23 11

発行人／小笠原 誓　発行所／名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東桜2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

名古屋園芸



サザンカ　「非水百花譜」杉浦非水画の一点　1920～1922年 春陽堂版

サザンカはツバキ属の一種で日本の固有種です。ツバキとの違いは新梢や雌しべの元の子房に毛があり、花は咲き終わると一枚ずつパラパラと散ります。10から12月にかけて開花し晩秋の花として親しまれています。

ヤマザキマザック美術館に於いて「杉浦非水の世界」展（2024年2月25日まで）開催されています。「非水百花譜」も展示されています。

ウィンターギフト

information

古典菊展を開催します

日本を代表する園芸植物のひとつである菊は、江戸時代に各地の殿様の奨励により発展を遂げ、各地域で姿を変えて人気を獲得しました。江戸菊、伊勢菊、肥後菊、嵯峨菊、丁字菊などがあり、その中輪種を総称して『古典菊』と呼びます。それらの古典菊は品種によって個性を変え、花弁の色だけでなく形も様々で見ている私たちを楽しませてくれます。今回は、普段なかなか見られない珍しい古典菊を展示、また予約販売を行います。苗のお渡しは6月ごろを予定しております。個性あふれる花姿を楽しんでみてください。

【古典菊展】
開催期間：11/4(土)～11/26(日)
＊花の開花状況によって開催時期がずれる可能性があります。

花の博物館 第334回

養菊指南車　一冊　写本

文政庚申（一八五五）　有芳亭英露著
未刊本にて写本で伝ふ

小笠原左衛門尉亮軒

著者は肥後熊本の藩士、菊作りに熱中した人のようで、内容はいわゆる今日私どもがいう、「肥後菊」とその花壇作り、それも単なる栽培書ではなく、厳密なる作法を持っての栽培法である。さらに実生による新品種の得方、あるいは選別に至るまで詳細な記述がなされている。さて、こうした刊行されなかった書物の多くは人の手によって写本されて伝えられる。従って写本者による誤記、脱字または原本も必ずしも一書のみでなく複数存在した可能性があり、従って私は同名本を集書して比較することにしている。

今回底本としたA本は元治甲子（1865）、吉見有友氏の写し書かれた当文庫本で行った。

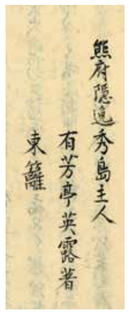
全文墨付三十六丁（七十一頁）、能筆で書写されている。

その他（2177）B本は慶応三年、松林堂主人写、全二十九丁（五十八頁）、平橋蔵版なる罫紙（二十二行）、序はない。

今一書（1621）、C本は昭和二年（1927）、高尾氏写、墨付二十五丁（五十頁）本である。

本文全文をご紹介することは、この紙面では不可能である。すでに農文協から刊行された「日本農業全書」の中に（巻二十九）に収録されているので参照されたい。

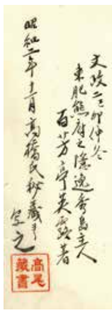
A-1　序文の後の著者名



A-2　本文初丁（久野花麟撰は序文の撰者）

B　本奥書

C　本奥書



世界ふれあい 花歩き　オーストラリア編　ルーラ　ガーデン　フェスティバル

Leura Gardens Festival 2023

小笠原　誓

カルーラガーデン
フジが滝の水のように垂れ下がる。モクレン、キショウブなど

オーストラリア、シドニーから西へ100kmほどのブルー・マウンテンズ国立公園の中にルーラという小さな町があります。ここで1965年から毎年10月初旬頃、数日間ガーデンフェスティバルが開催されます。運営は慈善団体によって行われ、400人以上のボランティアにサポートされ、収益は地元の医療機関に寄附されています。

今年は9月29日～10月2日の4日間開催され初日に訪問しました。日本の長野県小布施町や北海道恵庭市で開催される個人の庭を見るオープンガーデンに似ていますが、著名な庭園家の設計管理のもとそれぞれが広大な庭園です。

ザ・ブレイズ　ガーデン

シドニーから列車で約2時間、ルーラ駅に降りると、路上につくられた臨時販売所でフェスティバルとシャトルバスのチケットを購入します。今年は7つの庭が公開されました。

ルーラの気候は、年間の気温は－1℃～25℃で、－5℃以下や 30℃ を超えることは滅多にありません。比較的冷涼で名古屋の猛暑と極寒がないようなマイルドな気候です。

プロスタンテラ・オバリフォリア（オーストラリアンミントブッシュ）　オーストラリア南東部固有の植物

それぞれの庭に共通して植栽されているのは日本原産のツツジ、シャクナゲ、ハナミズキ、ツバキ、フジなど北半球極東の温帯性花木です。

また一年生植物、多年草、球根はじめ地元オーストラリアの植物も植栽されており、庭園の鮮やかな春の色は、海外からの観光客も魅了します。今回は7つの庭の内2つを紹介します。

グラスガーデン　ススキやカヤツリグサの仲間を使い、印象的な色や形状のグラス類のガーデン

【カルーラ　ガーデン】

玄関を入るとすぐに白いフジが滝の水が池に落ちるように植栽されています。フジはオーストラリア各地で見ましたが、その使い方は日本の藤棚のような仕立てではなく、自由な発想で仕立てられており、つる植物の性質をうまく使っています。さらに進むとオーストラリア原産のプロスタンテラ・オバリフォリア（オーストラリアンミントブッシュ）が満開です。紫色の花で葉にミントやオレガノのような香りがする常緑植物です。

シャクナゲの巨木

【ザ・ブレイズ　ガーデン】

敷地内には 200 種類以上の樹木、多年草があり、いくつかの展望ポイントがあります。庭園には、樹齢 100 年に近い樹木や多種多様な多年草や一年生植物が幅広く展示されています。入口付近の満開のシャクナゲの巨木に圧倒されます。

東側のテラスにはバラ園、20種類以上の果物やナッツの木が植えられた果樹園を設け、数百株の球根を植えています。敷地の北東の角に設置された繁殖施設では、毎年 5,000 株を優に超える植物が挿し木や種子から生産され、継続的に庭の環境に追加されています。

ウォレマイ・パイン
1994年、ここから近い国立公園で発見された樹から挿し木した株。ジェラシックツリーとも呼ばれ、生きている化石として貴重な植物。名古屋園芸のガーデンにも展示中。

テロペア（州花）

シドニーのあるニューサウスウェールズ州が原生地で、州花であるテロペアが大きく育っています。日本へ切花で輸出しています。宿根草ガーデンにはジャーマンアイリス、オステオスペルマム、スズランが咲いています。日本の多くの地域で春の花は順序に咲きますが、何もかも一斉に咲く印象がありました。北海道の春の開花状況に似ているように感じます。

宿根草ガーデン　スイセン、オステオスペルマムが咲き誇る

ブルーマウンテンズ　スリーシスターズ

＊ブルー・マウンテンズ国立公園
アボリジニの伝説にちなむ3つの巨岩が並ぶスリーシスターズをはじめ峡谷景観が美しい。ユーカリの木から揮発されるオイルが太陽光に反射し、青く霞んで見えることからこの名が付けられました。